

「電子マネーを作ろう！」

社会 金銭教育 総合(金銭・キャリア)

- (1) ねらい 「金融と地域貢献を合わせて考える課題」にグループワークで取り組みます。
金融について学ぶとともに、「生徒自ら考えること」を重視した授業を行います。
- (2) 対象 中学生(全学年)
- (3) 講師 財務省 関東財務局 東京財務事務所 職員
- (4) 形式
 - ・所要時間 50分程度 ※日程・時間・人数はご相談に応じます。
 - ・定員 20名~40名程度 ※土日祝日でも対応いたします。
- (5) 内容 自分の住む街を、将来どのような街にしたいかを考え、その街の将来像の実現に繋がる電子マネーをグループで考案し、最後にグループ毎に発表します。

“電子マネー”って何だろう？

企業や自治体などが発行した、
情報処理技術を活用した支払い手段であり、
“キャッシュレス”の一つです。

※キャッシュレスとは、
お札や硬貨といった現金を使わずに、
お店での買い物やお金のやり取りが
できること。
キャッシュ(現金) + レス(以外)

簡単に言うと、
現金と同じように、モノを買ったり、
サービスを受けたりすることができる
電子のお金です。

主に、スーパー、コンビニ、鉄道の改札機に
タッチしてお金を支払うことができます。

カードタイプのほかに、
携帯電話やスマートフォンで使えるタイプ(バーコード、QRコード)があります。 2

キャッシュレス

デビットカード

クレジットカード

電子マネー

プリペイドカード

○○Pay など

商品券

ポイントカード

◆授業は、以下の3部構成で行います

- ① 事前学習
「事前学習資料」で自分が住む街の将来像の
実現に繋がる電子マネーのイメージを作る。
- ② 当日の授業(50分)
電子マネーの説明の後、各グループで電子
マネーを作成し、最後にグループ毎に発表。
- ③ 事後学習
授業で学んだことを元に「事後学習資料」
で電子マネーへの理解を深める。

電子マネー 作成シート

作成グループ氏名 () () () ()

グループで考えた
【●●区をこんな街にしたい!】

①電子マネーの名称	⑤電子マネーを利用することで●●区 に貢献できること (ポイントやおまけをつけることも可能)
②主に誰が利用するか	⑥ロゴやカードのデザインなど
③どこで利用できるか	
④利用の良い点、気を付ける点	

(6) 費用 「無 料」

(7) 申込み 外部人材派遣申込書 実施日2ヶ月位前 → 学校支援ネットワーク本部へ送付
財務省関東財務局東京財務事務所の方には、当本部から連絡を取らせていただきます。
詳細の打ち合わせは、講師の方と学校担当者で行ってください。